

Topic of town

## まちな話題



## 河北 シジミつかみ取り盛況 かほく産業まつりで初開催



地元の新鮮な農林水産物や加工品を紹介する「かほく産業まつり」が11月3日に河北総合センター「ビッグバン」周辺で開かれました。当日は好天に恵まれ、地場産品を買い求める約5,000人の来場者でにぎわいを見せました。初開催となった北上川から採れたベッコウシジミのつかみ取りのステージイベントでは、73人が参加し両手でつかみ取ったベッコウシジミを持ち帰りました。



## 石巻 海の幸求め5万2千人

鮮度抜群 大漁まつり

水産都市・石巻の豊富な魚介類と水産加工品を紹介する「第35回 いしのまき大漁まつり」が10月20日に石巻魚市場で開かれました。好天に恵まれ、昨年より1万6千人多い5万2千人が来場。新鮮さと奉仕価格が購買意欲を刺激し、どの店も大にぎわいでした。鮮魚すくいコーナーではタモを力いっぱい引き上げて一獲千金を狙い、模擬競りは買受人気分を味わいながらイカ、メヒカリ、毛ガニなどを競り落としていました。



## 雄勝 神楽モチーフの新作披露

防潮堤の壁画前にぎわう

雄勝地区上雄勝の防潮堤に新たな壁画が完成し、10月13日の「オガツシーサイドフェス」でお披露目されました。芸術家の安井鷹之介さん(東京都在住)の手による壁画で、3年前から「海岸線の美術館」として数を増やしています。新作は雄勝法印神楽がモチーフで、会場では実際に奉納されました。雄勝石を使ったワークショップやキッチンカーの出店、ライブイベントもあり、終日にぎわいました。



## 河南 河南の魅力がいっぱい

第30回記念のまつり

河南地区の新鮮野菜や地場産品を集めた第30回記念かなんまつりが10月26日、遊楽館で開かれました。恒例となった手作りみそおにぎりやもちの販売に行列ができ、キッチンカーの出店もあって多くの来場者でにぎわいを見せました。地元の子どものための河南鹿嶋ばやしが開会式に花を添え、館内では趣味の展示やモンゴル民謡歌謡などのステージイベントがありました。



## 桃生 きらり輝く趣味の展示

桃生地区文化祭

令和6年度桃生地区文化祭が11月2~3日、桃生公民館で開かれ、地域の方々による書道や手芸、ちぎり絵など多彩な作品が廊下や各部屋いっばいに展示されました。趣味や日頃の創作活動の発表の場であり、幼稚園や保育所の子どもたちによるかわいらしい絵画や小中学生の俳句も訪れた人の関心を集めていました。茶道の体験コーナーも人気を集めていました。



## 北上 笑顔広がるにっこりまつり

広場に出店ずらり

北上地区を代表する催しである「北上にっこりまつり」が10月27日、同地区多目的広場で開かれました。飲食や地場産品を提供する約30の店と各種体験のコーナーが並び、多くの来場者でにぎわいました。食事をしながらステージを見物することもでき、特にシージェッター海斗のショーが子どもたちの人気を集めていました。



## 牡鹿 東北弁の落語独演会

笑って元気に

10月4日、牡鹿保健福祉センター清優館で、落語家、六華亭遊花さんの独演会が開催されました。六華亭遊花さんは、東北六県に笑いの華を届けようと東北弁で活動しており、「宮城県文化芸術の力による心の復興支援事業」を活用し、石巻市社会福祉協議会牡鹿支所の協力で実現したものです。当日は、立ち見も出るほどの盛況ぶりであり、なじみある東北弁での落語に、会場は笑いの渦に包まれ、観覧者の方々は、活力を得ていました。

